

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、夏季休業中に行ったオープンキャンパスなどの成果を踏まえ、志望大を絞り込み、行動変容につなげる「第1志望研究」について検討する。

北海道旭川東高校 花尻健明先生提供  
「2年生2学期 第1志望研究」

Before

総合学習ワークシート

2年 組 番 氏名

① (1) 志望校を1つ定めて書きましょう。(決まっていない人は仮決めて考えましょう)

大学 学部 学科 (募集名称)

② (1) ① (1) であげた大学の特徴について調べて書きましょう。

(2) (1) を踏まえて、どのような大学であるか、大学に対する印象、その大学は何ができそうかなどその大学に対する自分の考えを書いてみましょう。また、オープンキャンパスなどに参加した人はその時に感じたことや印象なども書きましょう。

(3) 今後、高校生活のなかで志望校に対する理解を深め、志望校への思いを強めていくにはどうしたらよいか考えてみましょう。

③ (1) ② (1) であげた大学のアドミッションポリシーを読み、どのような人材を求めているかまとめてみましょう。

(2) (1) であげた人材となるために、今後の高校生活で取り組むべきだと考えられることは何か書いてみましょう。

④ これから受験に向かうに当たって、キーワード3つとその理由をあげてみましょう。

キーワード	理由

課題

- ① 第1志望大に対するあこがれやこだわりを強く持たせ、2学期以降本格化する大学研究への第一歩にさせたい
- ② 第1志望大について調べたり、考えたりしたことを、生活面や学習面での具体的な行動変容につなげさせたい

北海道旭川東高校では、2年生に対して、夏季休業終了時までの進路研究成果をまとめ、2学期以降につなげる「第1志望研究」を2学期開始直後に活用している。第1志望大を挙げ、その理由をオープンキャンパスの成果とともに考えさせ、さらに、その大学が自分に何を求めているかをアドミッション・ポリシーを踏まえて整理させている。生徒が書いた内容は、志望大への思いを感じさせるもの、志望大への思いが、学習・生活習慣の改善に結びつかない生徒もいる。部活動や学校行事が優先されがちな学年だが、受験を意識した行動変容を果たす生徒を増やしたいという思いがある。

志望大への思いを強く持たせ、具体的な行動変容につなげたい

検討メンバー



ツール提供者

北海道旭川東高校  
花尻健明  
はなじり・たけあき



群馬県立  
太田高校  
新井高広  
あらい・たかひろ



宮城県立  
延岡星雲高校  
柳井健二  
やない・けんじ

# 2年生2学期 第1 志望研究

## After

改良ポイント

### 1 アドミッション・ポリシーを今の自分に引きつけさせる

アドミッション・ポリシーで共感する点を書き出し、今の自分がそれを実現できているかどうかを考えさせることで、大学とのマッチングという観点での行動変容を促す。

### 2 他者、そして1年後の自分と向き合う場をつくる

志望大への思いや、アドミッション・ポリシーから自覚した行動変容を定着させるため、クラスの仲間の意見を聞き、1年後の自分を見通す。



## 「志望校とこれからの私」検討シート

2年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

**1** 志望校を1つ定めて書きましょう。(決まっていない人は仮決めて考えましょう)

\_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 学部 \_\_\_\_\_ 学科  
(募集名称 \_\_\_\_\_)

**2** **1**で挙げた大学について調べたこと、感じていることを自由に書きましょう。オープンキャンパスに参加した人は、その時に分かったこと、感じたことなども書きましょう。写真や資料などを貼りつけても構いません。

**3** **1**で挙げた大学のアドミッション・ポリシーを読み、「こういう学生を求めているのであれば、ぜひ自分はこの大学に行きたい!」と共感する点を挙げ、今の自分がそれを実現できているかどうかを○・×でチェックしましょう。できていることについてはその具体的な内容を、できていないことについてはその理由を書きましょう。

共感する点 (抜き出しでも可)	できているか?	できていることは具体的な内容を/ できていないことはその理由を

**4** **3**の内容をグループでシェアして、×を○にするためにはどうすればよいか、クラスの仲間からアドバイスをもらいましょう。

**5** 志望大への思いを強めていくために、明日からどんなことができると思いますか。

**6** 部活動や学校行事が一段落し、いよいよ受験モードに切り替わった1年後の自分にメッセージを送りましょう。

次ページでは、  
3人の先生方の  
検討の様子を  
ダイジェストで紹介!

志望大について考える上で、重要な要素となるアドミッション・ポリシーを、大学が発信する情報として理解するだけでなく、自分の行動を変容させる指針として読み解くようにした。そのため、アドミッション・ポリシーを書き出すのではなく、「共感した点」を書き出させ、そこから自己理解を促すようにした。また、アドミッション・ポリシーで求められる要件を十分満たしていない点をどう克服するかをグループワークなどで考えさせるようにした。そうして大学とのマッチングを丁寧を求める一方で、オープンキャンパスでの気づきは、写真や資料を使って生徒がより自由に表現できるようにものへと改訂した。

アドミッション・ポリシーから  
2学期以降の変容を自覚させる



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<http://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」でご覧ください。



### 活用の流れ

1 夏季休業後、シートを生徒に配布

2 夏季休業中に調べたことを生徒が記入

3 シートの内容を基に  
グループワークを行い、  
シートを完成させる

4 シートを基に面談を行い、  
生徒の行動変容をサポートする

## 早期化する受験生への切り替え 行動変容を促す機能を強化

まず、今回の議論の前提となったのが、「受験生への切り替えの早期化の必要性」だ。学習習慣の改善などの行動変容は、時間をかけて少しずつ進む場合が多いため、2年生の秋から促していくことが求められる。また、昨今の入試改革を踏まえると、志望大のアドミッション・ポリシーをできるだけ早期に理解しておくことが必要である。そうしたことから、2年生秋の志望大研究がこれまで以上に重要になっていくことが、検討会の中で確認された。

生徒の志望大への思いや、それを土台とした行動変容の進み具合の把握は、

面談が中心となるため、生徒に記入させるシートには「面談資料としての使いやすさ」が求められる。改訂後のシートでは「アドミッション・ポリシーの中でなぜその点に共感したか」「オープンキャンパスではなぜそのことが心に残ったのか」など、生徒に質問しやすいという点で教師にとってメリットがあり、また、生徒にとっても、併願大を選ぶ際の自身のこだわりを理解するきっかけになるという声が上がった。

また、生徒の具体的な行動変容を促すためには、ポリシーと自分をマッチングさせるための方策を語り合うような、生徒同士、生徒と教師の対話の場を多くつくっていくことの重要性が確認された。

検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

## 「合格のための資質・能力」を2年生の秋に知る

北海道旭川東高校 花尻健明 はなじり・たけあき



本校の生徒を見ていて感じるのは潜在能力の高さです。特に、浪人した生徒が夏前の模試で好成绩を収めるのを見ると、あと数か月、受験生の切り替えが早ければと思うことが少なくありません。3年生0学期よりも前、2年生秋の重要性を強く感じています。

アドミッション・ポリシーを漫然と読むのではなく、どこに共感したのか、今の自分とどの程度マッチングしているかを考えることは、学習習慣などの行動変容を促す土台になると思います。アドミッション・ポリシーは確かに「大学からのメッセージ」ですが、今の自分、これからの自分とそれを照らし合わせることで、これからの高校生活をよりよくするためのエネルギーが生み出されると思うのです。志望大合格のためには、入試教科・科目の学力は確かに必要ですが、それだけではなく、「地域社会に対する貢献心」「異質な価値観への寛容」など、点数では表せない資質・能力も求められるのだと気づき、2年生秋からの高校生生活を過ごしてほしいと思います。

花尻先生プロフィール 教職歴11年。同校に赴任して4年目。進路指導部。数学科。「常に前向きに、あたり前のことをあたり前にする」

学校プロフィール 全日制・定時制/普通科/共学/1学年約280人/2018年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、旭川医科大、北海道大、東京大、東京工業大、一橋大などに158人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ184人が合格。

## APを自分と照らし合わせ、第1志望校にこだわらせる

群馬県立太田高校 新井高広 あらい・たかひろ



本校でも2年生には複数のオープンキャンパスに参加させ、大学について分かったことなどをクラスで発表させたり、クラス担任に面談でプレゼンさせたりしています。ただ、大学を複数校見に行っても、話題にするのは第1志望校のみ。第1志望校への思いを強く持たせることが目的からです。本校は「現役合格よりも、行きたい大学へ」という指導をしています。それでも3年生になると弱気になって、「合格できる大学」を探し出す生徒が出てきます。できるだけ早い時期に、第1志望校へのこだわりを持たせる必要があります。

今回の検討会では、2年生2学期の段階で、アドミッション・ポリシーと今の自分を照らし合わせて、「既にやっていること」「これからやるべきこと」を整理させることにしました。大学からの発信を受け止めるだけでなく、自分のこれからを考えることに大きな価値があると思いますし、双方向性があるからこそ、その大学への思いがより高まるのだと思います。

**新井先生プロフィール** 教職歴27年。同校に赴任して10年目。進路指導専攻。数学科。「正しい道を選ぶのではなく、選んだ道を正しいものにしていく生徒を育てたい」

**学校プロフィール** 全日制/普通科/男子校/1学年約280人/2018年度入試合格実績(現浪計)/国公立大は、東北大、東京大、東京工業大、名古屋大、京都大などに130人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、東京理科大、早稲田大などに延べ559人が合格。

## アドミッション・ポリシーを身近な観点で自分化させる

宮崎県立延岡星雲高校 柳井健二 やない・けんじ



本校には、進学に対する意識がアバウトで、「国立大ならどこでも」という生徒が数多くいます。大学について広く知るためにも、1、2年次でのオープンキャンパス参加を生徒に強く勧めています。今回の改訂後のシートには、生徒に第1志望校だけを書かせています。本校であれば、生徒の視野を広げるという意味で3、4大学を書かせるかもしれませんが。ただ、今回の検討会を通して、まず1つを深く調べ、考えるという利点もあると感じました。どちらがこれからの生徒に合っているのか、考えてみようと思います。

アドミッション・ポリシーと今後の自分については、具体的に考えられるヒントを与えたいです。例えば、自分が共感したアドミッション・ポリシーと、そこで描かれている人材像に1番近いクラスメートを考えさせたり、自分の苦手科目をどう頑張ると、その人材像に近づけるかを聞いてみたりしてはどうでしょう。身近な観点で聞くことにより、日々の授業の受け方を見直す契機になるかもしれません。

**柳井先生プロフィール** 教職歴26年。同校に赴任して10年目。主幹教諭。教務部。英語科。「活躍できる場を与え、対話を通して導き、生徒一人ひとりに成長や自立を実感させたい」

**学校プロフィール** 全日制/普通科・フロンティア科/共学/1学年約200人/2018年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、山口大、宮崎大、大阪府立大などに25人が合格。私立大は、駒澤大、近畿大、福岡大などに延べ133人が合格。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

### 指導ツールを募集しています!

「改良! 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材で検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①~④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認ください

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21\_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良! 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時~21時)にて承ります。(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者) 上記をご承諾くださる方はご送信ください。